

## 障がいがあってもなくても、互いに心ふれあい、 ともに歩むまちづくり

本町では、平成14年3月に「大津町障がい者福祉計画」を策定し、「心ふれあい、ともに歩むまちづくり」を基本理念とし、障がい福祉の充実・推進を図ってきました。

また、平成30年3月には、ノーマライゼーションの一層の推進や、障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で助け合い支え合いながら暮らす地域共生社会の実現をめざすため、基本理念を「障がいがあってもなくても、互いに心ふれあい、ともに歩むまちづくり」と一部変更し、新たな計画に沿った取り組みを推進してきました。

本計画では、基本理念を今後も引き継がれるべき普遍的な目標として捉え、前回計画と同様、「障がいがあってもなくても、互いに心ふれあい、ともに歩むまちづくり」を本計画の基本理念として掲げます。

### 【案①】

## 誰もが認め合い、心ふれあう、みんなで歩むまちづくり

\*現行の基本理念の方針は踏襲しながら、「共生」や「障がい」といったワードをあえて用いずに、障がいのある人を特別視（軽視・差別）せずに、あたりまえに地域で暮らし合うまちづくり、といったイメージです

### 【案②】

## すべての人の尊厳を大切に、認め合うインクルーシブなまちづくり

\*趣旨としては案①とほぼ同じですが、インクルーシブは近年教育を中心に普及し始めている考えなので、より「令和らしさ」は出るかと思えます

### 【案③】

## 個性や魅力を生かす、誰もが輝きをもつ共生のまちづくり

\*障がい者＝○○できない、劣っているという考え方を排除し、それぞれの持つ個性や強み（得意分野）、人間性の魅力等に目を向け、多様性や包摂性に富んだ地域づくりをめざす、といったイメージです。

### 【案④】

## 障がいがあっても、自信や生きがいを持って暮らせる、みんなにやさしいまちづくり

\*障がいのある人が就労や趣味や地域活動等により世間とのつながりや生きがいを持ち、劣等感や自己嫌悪を抱くことなく、自分に誇りを持って暮らせる、障がいのある方のQOLの向上に軸を置いたイメージです。